



たんぽぽぐみだより

2022年1月4日
尚徳福祉会おぐら保育園

年末年始はどのようにお過ごしになられたでしょうか。子どもたちが楽しかった出来事を嬉しそうに話す元気な声とともに2022年のスタートです。早いもので今年度もあと3カ月。進級に向けた取り組みや今年度の振り返りをしていきながら1日1日を大切に過ごしていきたいと思ひます。

新しい年が皆様にとって幸多い一年となりますよう、心よりお祈りいたします。

かがみもち作り

12/22に鏡餅作りを行いました。事前に鏡餅の由来の紙芝居を読んでから行ったので「神様の座るところなんだってー」と言いながらもちつきごっこを楽しみ、いよいよ鏡餅作りへ。餅がつかないように片栗粉を手につけると「これは魔法の粉なの!？」と始まる前から興味津々。餅が配られると「あったかいね」「粘土より柔らかい」と話しながら感触を楽しんでいましたが、次第に餅が硬くなる子、揉みすぎてどんどん粘り気が出てくる子と様子が変わってくると口数も減って集中して鏡餅を作っていました。完成して部屋に飾っておくとみんな見に来てはそれぞれの形の違い等を話していました。新年の素敵な門出に子どもたちの鏡餅が活躍しそうですね。

ゆり組からたんぽぽ組へ

ゆり組の発表会を目前にして、たんぽぽ組のLaQを次々と借りに来たゆり組さん。「使いたいパーツが無いよ!」「ゆり組から借りてくる!」というやり取りが日々ありましたが、ゆり組の発表会前日、ゆり組に飾られたゆり組のLaQ大作を見に行くと「うわあ...」「どうやったんだろこれ」とみんな作品にびっくり。発表会が終わると早速LaQの本やパーツを貸してもらい、今度はたんぽぽ組も新作や大作を作るようになりました。最近「キッチンカー」「よく走る車」などタイヤを使った作品がブームです。今年度はゆり組に負けじと男の子も女の子も作品を作り続けていました。来年はどんな作品を作ってくれるか今から楽しみです。

～作ってみたい、書いてみたい!～

指先の発達や文字への興味から塗り絵よりも白紙の紙を好んで使って絵や文字を書く子や、折り紙を一生懸命折る子、廃材や段ボールをハサミやノリを使って工作する子と、すでにあるおもちゃなどではなく遊びを「作り出す」ことを楽しむ姿が多くなりました。もちろん今までの遊びをじっくりと楽しむ姿もあり、子どもたちは日々様々な遊びに全力です。子どもたちの興味に合わせて廃材や段ボールを自由に使えるコーナーを設けていこうと思っています。ご家庭で不要になった廃材などがありましたらご提供して頂けると助かります。ご協力の程、よろしくお願いいたします。飾り棚コーナーに自分たちが作った作品が並ぶようになるかもしれませんね。

～保護者の皆様へ～

○今月は個人面談があります。ご家庭や園での様子を話し合う場になればと思います。お忙しい中ではありますが次年度に向けたお話ができればと思います。宜しくお願いいたします。

○